

環境ストック	<p>られる触媒。</p> <p>集落において伝統的に維持されていた、昔ながらのモノといった意味で用いられる。特有の様式の家屋、連続する生け垣、屋敷林、鎮守の杜などがあげられるが、剪定の技術、伝統芸能、民話なども同時に含む概念。人的な資源は、景観整備のための重要な蓄積資源（ストック）となる。</p>
・環境税	環境の利用の程度に応じて税を課し、環境の浪費を改めさせようとするもの。
・環境調和型農業	持続的農業。経済効率優先を見直し、生態系との調和をはかりつつ資源の循環を考え、環境保全機能を維持していく農業。（土壌中の蓄積リンの利用、生活・畜産廃棄物の利用、輪作・混作の活用、水田の特有の活用、生物的防除、農・畜・林の連携などがあげられる）。
・カントリーウオーク	ごく普通の農村や山村の田舎道を、地図を頼りに自分なりの探検ルートを作って歩くという、気のあった仲間や家族向きのアウトドア・レクリエーション。
・環境破壊的農業	経済効率を優先し、化学肥料や農薬を多用した地力収奪型農業。土壌の浸食・劣化・砂漠化・水質汚濁など全地球的な環境問題として指摘されている。
・環境保全機能	農業が持っている保全機能として、水源かん養、洪水防止、水質浄化、土壌浸食防止、土砂崩壊防止、地盤沈下防止、汚染物浄化、気候緩和、景観保全、生物相保全があげられる。
・クアハウス	「保養の館」の意。温泉を利用して、病気予防や健康増進などに使われる多目的な総合保養施設。
・クラインガルテン	小菜園とよばれている市民農園。都市住民のニーズが高く、その意義として、①環境保全、②心身の健康、③子供の健康、④家族や地域の人達とのふれあい、⑤無農薬野菜の栽培・確保などがあげられる。体験農園、市民水田、社内菜園など多様な展開をみせている。
・グリーンエイドプラン	発展途上国の産業公害を防ぐための総合的なエネルギー環境支援策。
・グリーンコリドー	緑の回廊。貧弱な生物相を豊かにする手法の一つ。自然を連続的に展開させることで、より自然的な地域から豊富な動植物の種の供給、導入を可能にしようとするもの。
・グリーンツーリズム	農村や山村にのんびりと滞在し、自然に触れることを目的とした旅行。
・景域計画	ランドスケーププランニング。景観計画。国土保全（景域保全、自然保護、緑地秩序）の中で景域保全部門に対応する計画。

・ 景観	周囲の山・川・樹木等も含んだ広い意味での景色・風景。風景的な視点と地域的の広がりや生態的視点を伴った土地の総体的な見え方を表現する意味。（視点と対象物の距離によって近景＝小景観、中景＝中景観、遠景＝大景観と呼ばれる場合もある。）
・ 景観形成作物	景観の形成に寄与する作物で、転作の対象作物として認められ転作水田に作付けされるものをいう（マリーゴールド、コスモスなど）。
・ 景相	景観の本来の概念をより明確にいい表す言葉。人の五感を通した総合的な環境の相観をいう。
・ 景物	四季折々の風物。
・ 国際環境法	フロンガスによるオゾン層の破壊、炭酸ガスによる温室効果、酸性雨、熱帯雨林の減少、人工放射性物質や化学物質による環境汚染など地球規模の環境破壊を、二国間または多国間の条約・協力によって防止するための国際法。
・ コミュニティ道路	交通安全と快適な歩行区間をめざして、歩行者と自動車交通の共存をはかるために整備されているもので、街路樹の植栽や照明などにもデザイン的な配慮がなされ、街なみの整備にも寄与する。
・ コンポスト	堆肥。混合肥料とも訳されれているが、園芸用培用土・配合土といった意もある。
・ 酸性雨	硫黄酸化物（SO _x ）、窒素酸化物（NO _x ）、などの汚染物質と、大気中で生成した硫酸、硫酸塩、硝酸塩を取り込んだPH 5.6以下の雨。
・ 山村留学	都会の小中学生が、親元を離れ、1年以上の長期にわたって農山村で、生活し、地元の学校に通いながら自然体験や農業体験などを行う制度。
・ サンデッキ	日光浴、月見、星座ウォッチング、演奏会、焼肉パーティなどの多目的な舞台。
・ C A A	大気浄化法。スモッグ、排ガス、有害大気汚染物質などを対象にした規制。
・ C O D	化学的酸素要求量。水中の有機物を酸化剤で酸化するのに消費される酸素の量。有機物が多いほど酸素量も多く、水の汚染度を示す数値となる。
・ 仕切植栽	境界を明示し、人や動物の出入りをコントロールしようとする境界植栽。空間を囲んだりつなぐもの、空間の特性や広さを演出するものなどがある。
・ 借景	庭園外にある山などの景色を、庭園の構成要素としてとり入れること、またその景物をいう。
・ 遮蔽植栽 ^{しゃへい}	植栽によって見苦しい構造物や場所を隠したり、他人の視点を遮ってプライバシーを守ることなどを目的とするもの。
・ 修景	自然景観を破壊しないよう現在の環境の特性を引き立たせて整備すること。
・ 修景建築	個々の建物が街なみ景観を形成しているという認識で、高さ、材料、色彩を周

<ul style="list-style-type: none"> ・ 修景整理 ・ 修景装置 ・ 修景緑化 ・ 親水公園 ・ 単独処理浄化槽 ・ 地球環境保護基金 ・ テクスチャー ・ デトリタス ・ ニアネイチャー ウオーター コン ストラクション ・ パーゴラ ・ BOD ・ ビオトープ ・ ビューポイント ・ ファームサイン ・ フロン ・ 防風植栽 ・ ミティゲーション 	<p>囲の景観に配慮した建物。</p> <p>見苦しいものをなくする。</p> <p>装置的なものによる修景（フラワーポット、看板など）。</p> <p>景観を良くする目的の植栽で、外からの見え方や、周囲の景観との調和を考えながら植栽する方法。</p> <p>様々なかたちで水に親しむことをデザインの基調とした公園。</p> <p>個別排水処理施設で、トイレの水洗、し尿だけを処理するもの。</p> <p>ファシリティ。先進国が拠出した資金を世界銀行、国連環境計画、国連開発計画の三機関が共同で管理・運営し、途上国の環境保護対策に低利で融資するほか、各国の実情にあった環境保護計画立案を援助する。</p> <p>（枝葉）のきめの細かさ。</p> <p>生物体の破片。</p> <p>自然に近い河川改修法。</p> <p>日陰棚。</p> <p>生物化学的酸素要求量。水中の有機物が微生物によって一定時間内に酸化分解されるときに必要な酸素量。水が汚れていれば有機物も多く、酸素もたくさん必要。単位はppmで数値が高いほど汚濁がひどい。河川の汚濁指標として環境基準で採用されていて、6類型中もっとも厳しいものは1ppm以下。</p> <p>生物種の多様性の保護、生態系の保全を目的とした動植物の生息空間。</p> <p>観点。見地。景観観賞に最適の場所。</p> <p>道案内や自己PRのための農場看板。</p> <p>塩素とフッ素が結合した炭化水素でオゾン層破壊の元凶として知られている。正確にはクロロフルオロカーボン（CFC）といい、安定性が高く分解せず、化学的にも不活性で他の物質に反応せず、不燃性で引火爆発せず、毒性が少ないなどの点で、きわめてすぐれた性質をもっている。</p> <p>道内では耕地防風林がよく知られている。他に防風効果が期待されるものとして、海岸防風樹林、強風地域の保護植栽、屋敷林、建物からの放熱を防ぐ植栽、傾斜地での冷気流のコントロールなどがある。</p> <p>開発で失われる自然を、別の場所で補ったり復元したりすることで、全体としての環境レベルを維持しようとする考え方。「代償措置」ともいう。</p>
---	---

- ・ユースホステル 旅行をする青少年のための宿泊施設で、健全な旅を通じて青少年の育成を図ろうという目的でつくられた。（ユースゲスト…ユースホステルの規制が厳しく利用者が減少しているため、部屋を個室にし飲酒できるホテル並の施設として注目されている。）
- ・ランドスケープ
デザイン 庭園、公園、住宅地、都市再開発、高速道路、リゾート、自然風景地にいたるまで、あらゆる土地開発に付随して発生する景観と生活環境の問題に対して、デザイン的手法で対応する。
- ・リサ 低投入持続的農業。従来の石油エネルギー、化学肥料、農薬多用の農法を反省して、安定的かつ安全な食料供給を行おうとするもの。その特徴は、①有機的な作付け体系、②総合防除の推進、③土壌と水の保全、④耕種と畜産の有機的結合による複合経営、⑤環境と農業を調和させ、長期的利益を得る、などがあげられる。
- ・リゾート 保養地。行楽地。（リゾートフル…保養地、行楽地へきたような。リゾート法…総合保養地域整備法。）
- ・緑陰植栽 樹木の枝葉によって日射の緩和を行うもので、蒸散作用による温度低下など夏季の生活には欠かせない。
- ・ルーフトップガーデン 屋上庭園。
- ・ルーラルアメニティ 田舎の快適さ。（アメニティ…心地よさ。快適さ。）
- ・ワイルドフラワー 公園や道路の緑地帯などを緑化するために、従来から使われてきた植物材料に加えて空間を明るく快適に彩り、人の目を楽しませる目的で用いる草花。

